

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド（FW専用）

月次運用報告書

追加型投資信託／内外／株式・・・ファミリーファンド方式

2025年9月30日

[商品概要]

設定日： 2022年5月31日 信託期間： 約10年（2032年3月10日まで）

設定・運用：

決算日： 3月10日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

<商品の特徴>

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移

2025年9月30日現在

◆投資目的
「ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド」を通じて主として、世界各国の株式の中から、クオリティが高く、イノベーションにより持続可能な成長が期待できる銘柄に投資することにより、中長期的な観点から、運用財産の成長をめざして運用を行います。

◆投資対象
ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。マザーファンドにおいては、日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場（上場予定を含む）している株式（預託証書（DR）を含む）に投資します。



※基準価額（税引前分配金再投資）は、信託報酬（後述の「ファンドにかかる手数料について」参照）控除後の値です

基準価額	19,644円
純資産総額	707百万円

組入比率（純資産総額対比）
ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド
99.9%

基準価額騰落率（税引前分配金再投資）	
ファンド	
1ヶ月	2.83%
3ヶ月	7.53%
6ヶ月	21.71%
1年	17.95%
3年	108.29%
設定来	96.44%

※当ファンドの決算時に分配金があった場合に、その税引前分配金で当ファンドを購入（再投資）したとして計算した騰落率です

分配実績（税引前、1万口当たり）	
決算期	分配金
第1期（2023年3月10日）	0円
第2期（2024年3月11日）	0円
第3期（2025年3月10日）	0円
-	-
-	-
設定来累計	0円

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド 組入状況

資産内訳※	
株式等	97.4%
現金他	2.6%
合計	100.0%

通貨別構成比※	
米ドル	73.0%
ユーロ	7.8%
英ポンド	6.9%
台湾ドル	3.8%
日本円	2.7%
その他の通貨	5.8%

国別構成比※	
アメリカ	62.1%
台湾	9.0%
イギリス	6.8%
フランス	6.4%
カナダ	4.1%
韓国	2.5%
日本	2.1%
デンマーク	1.7%
ドイツ	1.4%
ブラジル	1.3%
その他の国	0.0%

セクター別構成比※	
エネルギー	0.0%
素材	0.0%
資本財・サービス	13.8%
一般消費財・サービス	6.2%
生活必需品	0.0%
ヘルスケア	11.5%
金融	6.7%
情報技術	44.1%
コミュニケーション・サービス	9.6%
公益事業	1.9%
不動産	3.6%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に国内外の有価証券に投資するため、組入れた有価証券の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド（FW専用）

月次運用報告書

追加型投資信託／内外／株式・・・ファミリーファンド方式

2025年9月30日

[商品概要]

設定日： 2022年5月31日 信託期間： 約10年（2032年3月10日まで）

設定・運用：

決算日： 3月10日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド 組入状況

組入上位10銘柄※ （組入銘柄数： 40 ）

銘柄名	セクター	通貨	投資国	比率
NVIDIA CORP	情報技術	USD	アメリカ	7.4%
MICROSOFT CORP	情報技術	USD	アメリカ	6.5%
ALPHABET INC-CL C	コミュニケーション・サービス	USD	アメリカ	6.0%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	情報技術	USD	台湾	5.2%
AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	USD	アメリカ	4.1%
META PLATFORMS INC-A	コミュニケーション・サービス	USD	アメリカ	3.5%
BROADCOM INC	情報技術	USD	アメリカ	3.3%
APPLIED MATERIALS	情報技術	USD	アメリカ	2.9%
SCHNEIDER ELECTRIC	資本財・サービス	EUR	フランス	2.9%
WIWYNN CORP	情報技術	TWD	台湾	2.9%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です

運用状況と今後の方針

<市場動向>

【国内株式市場】
9月の国内株式市場は、日銀が保有する上場投資信託（ETF）の売却を決定したことや利益確定売りが重荷となりましたが、米利下げ観測を背景とした米ハイテク株高や米自動車関税の引き下げに加えて、次期政権の財政拡張期待も相場を支える中、上昇しました。

【先進国株式市場】
9月の外国株式市場は、米景気悪化や米政府機関の一部閉鎖懸念、フランスの財政悪化への警戒感などが重荷となりましたが、米利下げ再開や利下げ継続観測が相場を支える中、上昇しました。地域別の騰落率は、米国市場が約3.7%の上昇、欧州市場が約1.8%の上昇、アジア市場が約0.7%の下落となりました。

【新興国株式市場】
9月の新興国株式市場は、米利下げ観測を受けた米ハイテク株高、中国産人工知能（AI）の開発進展期待や中国政府の政策期待、韓国政府の市場活性化策などを背景に中国、台湾、韓国が大きく上昇する中、堅調な展開となりました。

<運用概況>

当月のファンドの騰落率（分配金再投資）は、+2.83%となりました。

セクター別の寄与度は、トランプ米大統領による業価の引き下げや大規模関税計画に対する懸念から冴えない展開となったヘルスケアの他、金融などがマイナスとなりましたが、順調な企業業績の拡大トレンドが株価の追い風となった情報技術やコミュニケーション・サービスを始め、資本財・サービスなどがプラスとなり、ファンドの騰落率の上昇に寄与しました。個別銘柄別では、米国における継続的な利下げ観測によって投資家のセンチメントが好転する中、好調なAI（人工知能）関連事業の拡大基調に加え、インターネット検索事業が関与する米国政府の独占禁止法訴訟の救済策について連邦判事が予想よりも有利な判決を下したことを好感して株価が大幅上昇となったアルファベット（米国、コミュニケーション・サービス）を始め、AI向け半導体需要の高まりが株価の追い風となった半導体関連の台湾積体電路製造[TSMC]（台湾、情報技術）やアブライド・マテリアルズ（米国、情報技術）、SKハイニックス（韓国、情報技術）、ブロードコム（米国、情報技術）、エヌビディア（米国、情報技術）、欧州における建設市場の回復やデータセンター需要の拡大基調を受けて市場アナリストによる予想業績の上方修正が相次いだシュナイダー・エレクトリック（フランス、資本財）の他、ジョビファイ（カナダ、情報技術）やマイクロソフト（米国、情報技術）、ネクステラ・エナジー（米国、公益事業）、ウィーン・コーポレーション（台湾、情報技術）などの保有がプラスに寄与しました。その一方で、上旬に発表した第3四半期（5-7月期）の売上高及び当期利益が、足元の米中貿易戦争による影響を受けて事前の市場予想を下回る結果となったことが嫌気され株価の急落を余儀なくされた集積回路（IC）自動設計ソフトウェア企業のシノプシス（米国、情報技術）を始め、トランプ米大統領による業価引き下げ要請による業績悪化懸念から冴えない展開となった製薬大手のアストラゼナカ（英国、ヘルスケア）の他、ロンドン証券取引所（英国、金融）やインフィニオン・テクノロジーズ（ドイツ、情報技術）、アマゾン・ドット・コム（米国、一般消費財）、テトラ・テック（米国、資本財）、キーエンス（日本、情報技術）、スパイラックス・グループ（英国、資本財）などの保有がマイナスに寄与しました。

<今後の見通し>

足元の世界株式市場は、米国の関税及び金融政策に対する不透明感が薄れつつある中、継続的なAI関連投資の拡大基調に加え、米連邦準備制度理事会（FED）のハト派転換や相場を上回る企業業績の成長など、複数の好材料によって力強い上昇トレンドが続いています。

グローバルベースでの経済成長予測は前半に下方修正される局面もありましたが、その後は極端な米国の政策が緩和されたことで徐々に安定化の動きが見られています。今後、米国の経済センチメントは貿易及び財政政策の動向に左右される展開が予想されます。欧州では、ドイツの景気刺激策によって域内全体の経済活動加速への期待が高まっています。また新興国においては、輸出関連市場の一部で関税導入やサプライチェーン再設計による悪影響によって成長が抑制される可能性があります。一方でインフレの動向については世界的に落ち着いた傾向が見られており、主要中央銀行は金融緩和の実施に踏み切っています。しかしながら、継続的な関税措置の発表によって米連邦準備制度理事会の政策決定は困難な状況が続いており、価格への影響は今後見極める必要があります。

このように、株式市場を取り巻く経済環境は改善傾向にあるものの、引き続き予断を許さない状況にあると考えています。われわれの運用プロセスは中長期的な視点に立ったものであることから、市場のボラティリティや経済の不確実性が高まっている時代には、企業のファンダメンタルズに焦点を当てながら「谷の向こう側」に目を向けるようにしています。将来の出来事を予測することは困難ですが、長年の経験に基づくと、高い品質（クオリティ）を備えた企業は、このような混乱を乗り越えることができると考えています。ただし、それは短期的な出来事を無視するという意味ではありません。関税や貿易戦争をめぐる最近の出来事は、ビジネスモデルを混乱させ、その結果、企業の品質に対する評価を低下させる可能性があることも認識しています。われわれが企業の質を見極める際に用いている独自の尺度（銘柄確信度（CQ））は、経験豊富なリサーチアナリストによって実施される将来を見据えた定性的評価です。これは、強力なビジネスモデルや価格決定力、ビジネスの堀（参入障壁）、堅実なバランスシート、信頼できる経営陣などに着目し、永続的な競争優位性を持つ企業を特定しようとするものです。優れた企業が有する高い質こそが持続的な利益成長及び株価上昇の基盤になるとの信念のもと、引き続きこれらの銘柄に対して適正な株価水準を勘案しつつ厳選した銘柄への投資を継続致します。

- 本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは主に国内外の有価証券に投資するため、組入れた有価証券の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ファンドの目的・特色

当ファンドは、「ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド」への投資を通じて、中長期的な観点から、運用財産の成長をめざして運用を行います。

1. マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)している株式(預託証券(DR)を含みます。)へ投資します。
2. 当ファンドは、「ファミリーファンド方式」により運用を行います。
3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

投資リスク

当ファンドは、主にマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式等に投資を行いますが、主として以下に掲げる要因等により基準価額が大きく変動する場合があります、その運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込み、損失を被る可能性があります。

なお、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスクおよび、留意点は以下のとおりですが、当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅してはいませんのでご注意ください。

また、ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

< 基準価額の主な変動要因 >

株価変動リスク

当ファンドは、日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な投資対象としていることから、株式の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動および業績、経営方針、ならびに法令順守の状況等に反応して変動するほか、投資対象国の経済情勢および景気見通し、ならびに金利変動、為替相場およびそれらの見通し等にも反応して変動します。したがって、マザーファンドに組み入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落する可能性があります。

信用リスク

当ファンドは、日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な投資対象としていることから、株式の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により損失を被る場合があります。また、金融商品取引の相手方や受託会社の決済不履行または債務不履行等により損失を被る場合があります。

為替変動リスク

当ファンドの実質的な投資対象である先進国および新興国の株式は外貨建資産であるため、当ファンドの基準価額は為替変動の影響を受けます。一般に、主な為替相場の変動要因としては、金利変動、中央銀行等による政策金利の変更または為替介入、政治的要因等があります。

流動性リスク

投資対象となる有価証券の市場規模や取引量が少ない状況や解約資金を手当てするために実質的に保有する有価証券を大量に売却しなければならない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

また、解約資金の手当てが間に合わず、売却した有価証券等の売却代金回収までの期間、一時的に当ファンドで資金借入を行うことによって解約金の支払いに対応する場合があります、その場合の借入金利は当ファンドが負担することになります。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資対象国への投資リスク

当ファンドが実質的に保有する有価証券の発行国(投資対象国)における政治不安や社会不安、あるいは他国との外交関係の悪化などの要因により、投資成果に大きく影響することがあります。また、投資対象国の政府当局による、海外からの投資規制や課徴的な税制、海外からの送金規制などの様々な規制の導入や政策変更等により、投資対象国の有価証券への投資に悪影響が及ぶ可能性があります。

＜その他の留意点＞

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

＜リスクの管理体制＞

運用部に属するポートフォリオ・マネージャーは約款に定める運用方針に加え、内部ガイドラインを作成し、徹底したリスク管理と厳格なポートフォリオ管理を行います。業務部の運用評価グループは、毎月パフォーマンス分析レポートを作成し、月次収益率と対ベンチマーク超過リターンの算出と要因分析を行います。コンプライアンス・リスクマネジメント部では、全ファンドにおける運用ガイドライン遵守状況を運用部から離れた立場で確認しております。投資政策委員会において投資行動やパフォーマンスに関する運用の報告内容を確認するとともに、毎月末の運用ガイドライン遵守状況等の確認をします。

委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

ファンドにかかる手数料について

申込手数料・・・ありません。

換金(解約)手数料・・・ありません。

信託報酬・・・日々のファンド純資産総額に年率 0.869%(税抜 0.79%)の信託報酬率を乗じて得た額とします。

信託財産留保額・・・ありません。

その他の費用・手数料・・・信託事務の処理等に要する諸費用、有価証券等売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の費用、ファンドの監査にかかる費用等がファンドから支払われます。これらは、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

収益分配金に関する留意事項

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当収入および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【販売会社】

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	—	○	○	—
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	—	○	○	○

※販売会社は今後変更となる可能性があります。

【受託会社】

受託会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	—	○	○	—
(再信託先: 株式会社日本カस्टディ銀行)	(登録金融機関)	(関東財務局長(登金)第602号)	(○)	(—)	(—)	(—)	(—)

【委託会社】

委託会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第345号	○	○	○	—	—

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。